

2022 人文社会科学部後援会支援事業報告書

申請者：添田 仁

事業区分：学生の教育研究活動支援（「情報メディアと博物館」）

テーマ：博物館体験型展示について学ぶ実地授業

日時：2022年12月3日（土）

場所：千葉県立房総のむら

概要：「情報メディアと博物館」は、博物館学芸員資格に関する科目である。このうち「体験型博物館と仮想空間の本質」について学ぶ時間を利用し、体験型展示を見学・体験するとともに、展示方法や工夫について同館学芸員及びボランティアから解説・指導を受けた。履修学生のうち34名が参加した。

実地授業の場は、関東でも有数の体験型博物館である千葉県立房総のむらとした。当日は10時に集合し、館内利用にあたっての注意事項を確認した後、各自参加する予定の体験演目の予約を行った。10時30分から総合案内所ふさや2階において、同館学芸員から館の概要と体験型展示を準備するにあたっての工夫と課題について説明を受け、その後、館内に復元された江戸期の町並みを歩きながら、ボランティア解説員による解説を受けた。昼食をはさんで、それぞれ体験演目に参加し、演目を担当する職員やボランティアの方々から聞き取りを行いながら、演目を用意するにあたっての工夫と得られる学びについて調査した。

千葉県立房総のむらは、体験型博物館として有効な学びの場である。ただ、茨城大学からかなり遠く、これまでも交通費が学生の大きな負担となっていた。今回希望する一部の学生に対して、後援会から交通費を支給することができた。

後援会のご支援に心より感謝申し上げます。



